**赤字は執筆要項に記している原稿作成フォーマットの説明です。投稿時に削除してください。通し頁及び行番号は不要です。**

全般的事項：選手やチームが抱える現状や課題や、選手やチームが取り入れた栄養的な取り組みや栄養サポート活動の成果について、第三者的立場から記載下さい。現状や課題、成果の報告に際して、他のスポーツ栄養士が参考にしたり、研究者が新たな研究の参考にすることのできるよう、症例のポイントを明確にして詳細を記載して下さい。

**ショートレポートタイトル：**

「◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯」

**著者名：**

◯◯◯◯1)、△△△△2)、□□□□3)、◇◇◇◇1)

**所属先：**

1) 〇〇〇〇〇

2) △△△△△△△△△△△△

3) □□□□□□

**連絡先：**（代表者の連絡先を記載してください）

氏名：◇◇◇◇

住所：〒123-4567　東京都◯◯◯◯◯◯◯◯123-4

電話：03-1234-5678

E-mail：abcdef1234@ghijk.co.jp

**概要（150文字以内）：**

本文の主要な内容（対象者の基礎情報、測定項目、得られた成果、結論等）を簡潔にまとめてください。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**本文（文献まで含めて合計2,800文字程度　※図表は小さめのもの1点あたり500文字として計算）：**

**Ⅰ. はじめに**

本症例報告に関連する事象において、何がわかっていて、何がわかっていないのかを適宜文献を引用して簡潔にまとめてください。

引用文献は、最後に一括して記載してください。引用した順番に右肩付で番号をつけてください。連続して2つの文献を引用する場合は連続して2つの文献を引用する場合は半角カンマと半角スペースで文献番号を区切り（例：1, 2）、3つ以上の連続した文献を引用する場合は最初の文献番号と最後の文献番号素「～」でつないでください（例：2～4）。連続しない3つ以上の文献を引用する場合は半角カンマと半角スペースで文献番号を区切ってください（例：1, 3, 5）

（文献の引用例）

* 心身の成長のためにも十分なエネルギーや栄養素を必要とする1)が、・・・

上田ら（2019）4)は、媒体のわかりやすさと動機付けが行動変容に欠かせないと・・・

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅱ. 症例**

基礎情報（対象者の年齢、性別、身長、体重、競技レベルなど：個人が特定されない範囲で）、トレーニング・身体活動状況、食事摂取状況などを記載した上で、経過・成果を客観的な指標を用いて示してください。統計解析を行った場合には、使用した統計解析の方法（統計解析ソフトを使用した場合にはソフト名）も記載してください。

事実のみを記載し、第三者的な立場から記載し、著者の感情や考えなどは記載しないようにしてください。

必要に応じて小見出しを付けてください。

（小見出しの例）

１．対象者の基礎情報

２．トレーニング状況及び食事摂取状況

３．身体組成と最大挙上重量

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅲ. 考察**

今回の症例で観察された経過・解釈を、先行研究で得られた知見を引用し、それらと比較しながら論述してください。また、この症例の意義についても記述してください。

例えば以下のような書き方があります。「本症例で観察された◯◯◯◯%という骨格筋量の増加率は、既報の値と同等のものであった。したがって、約◯◯◯◯ kcalの補食を◯◯◯◯ヶ月間にわたって摂取することは、◯◯◯◯選手の骨格筋量を増やすうえで有効な手段となる可能性がある。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅳ. 結論**

本症例から明らかとなったことを簡潔にまとめてください。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**謝辞**

著者には入らなかったものの、この事業・サポート活動に協力していただいた人・団体の名前などを記載してください。省略することも可能です。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**利益相反**

利益相反の有無について記載してください。申告すべき利益相反状態の基準は「日本スポーツ栄養学会 利益相反の取り扱いに関する規程」を確認してください。

（記載例）

* 本症例報告に関連し、申告すべき利益相反は存在しない。
* 栄養太郎はAAAA製薬と共同研究を行っている。
* 栄養太郎はBBBB食品から原稿料を受領している。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**文献**

文献は本症例報告に直接関係するものにとどめ、引用した順にリストを作成してください。

文献リストは、著者名（和文はフルネームで、欧文は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで3名まで記載し、それ以上の場合は「, 他」、「, et al.」を用いて略記）：雑誌名（欧文は略記しイタリック表記、和文雑誌名は略記しない）, 巻数, 初頁-終頁（発行年）

（記載例）

（和）金田芙美，菅野幸子，佐野文美，他：栄養学雑誌，62，347-353（2005）

（洋）Rosell, M.S., Hellenius, M.L.B., de Faire, U.H., et al.: *Am. J. Clin. Nutr.*, 78, 84-90（2003）

1) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

2) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

3) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**図表**

1ページあたりに1つずつ貼り付けてください。

表の場合は上に、図の場合は下に図表の番号と説明を記載してください。

表1.表のタイトル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **項目名** | **期間1** | **期間2** | **期間3** |
| 項目1 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目2 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目3 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目4 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |

　項目名や略語の説明、数値の意味（平均値±標準偏差）、

統計解析結果の説明（\*p<0.05等）

|  |
| --- |
| C:\Users\martin\Downloads\testFigure.tif |

図1. 図のタイトル

項目名や略語の説明、数値の意味（平均値±標準偏差）、

統計解析結果の説明（\*p<0.05等）